

市長コラム

夢かなうまち
おびひろ

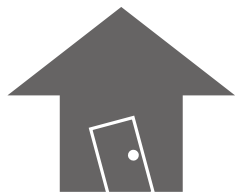
グランドチャレンジ
Grand Challenges
～世界の課題～

帯広市長 米沢 則寿



6月、帯広市は「ゼロカーボンシティ」を表明しました。
ゼロカーボンとは、気候変動に大きく影響する二酸化炭素（CO₂）などの温室効果ガスを、2050年までに地球規模で実質ゼロにするもので、日本をはじめ、先進国が実現に向けた取り組みを進めています。最近では、地域として取り組むことを表明する自治体も増えつつあります。
私が、環境政策の重要性に気付かされたのは、2010年に米国の「コーネル大学」に訪れた時です。そこで、当時、時代をリードしていた研究者たちが熱心に説明してくれたのは、「サステナビリティ（持続可能性）」や「ダイバーシティ（生物多様性）」といった、聞き慣れない言葉ばかりでした。今思えば、のちに、社会経済活動を維持しながらも地球環境を守るため、国連が掲げた世界共通の目

標「SDGs」のベースとなるキーワードでした。
中でも、印象に残ったのは、地球の絵とともに説明を受けた「ワシヘルス」という言葉でした。
人間と動物、植物なども含めた生態系の健康は一つであり、そのバランスのもとで地球全体の健全性が維持されているという考え方です。近年、地球規模でこうしたバランスが崩れ、地球温暖化はもとより、新型コロナウイルスやサル痘など、動物由来の感染症が発生している原因ではないかと指摘する学者もいます。
温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという、高い目標を掲げるゼロカーボン。これまでの気候変動対策は、省エネやリサイクルなど、CO₂を「排出」しないことに重点が置かれてきましたが、ゼロカーボンは、森林の管理などによる「吸収」の視点にも着目し、排出量と吸収量を差し引きすることで、全体としてCO₂のゼロを目指す取り組みです。
市民の皆さんが、大切に守り育ててきた「帯広の森」や「農地」など、広大な緑が広がる十勝・帯広。こうした緑には、植物の光合成により、社会活動などで放出される大気中のCO₂を吸収する役割もあります。
気候変動、水資源の枯渇、食料の安全保障、そしてエネルギーの供給。グランドチャレンジ（世界の課題）といわれる、この四つの課題に対応できる資源を有し、これまでその価値を磨き上げる「フードバレーとかち」を推進してきた十勝・帯広は、持続可能な社会の形成にも、前向きに貢献していけるのではないのでしょうか。



帯広市旧耐震住宅
除却補助金

空き家も対象になります



問い合わせ

建築開発課（市庁舎6階、☎65・4181）

市ホームページID.1003063

7月より募集を開始

旧耐震住宅除却補助金

帯広市内の住宅の耐震化を促進するため、耐震診断により「倒壊する可能性がある」と診断され、著しく耐震性の低い木造住宅を解体する場合に補助します。

◆補助内容

上限10万円

◆募集件数

先着9件

◆募集期限

9月30日（金）まで

◆対象者 次の条件をすべて満たすことが必要です。
①補助対象の住宅を所有している、または所有者の1親等以内の親族

②所得を基に計算した規定金額の世帯総額が550万円以下（確認できる最新のもの）
③市区町村民税を滞納していない
④暴力団員でない

◆対象住宅 次の条件をすべて満たすことが必要です。なお、空き

家も対象になります。

①昭和56年5月31日までに着工された木造住宅

②戸建て住宅、または併用住宅

③地上2階建て以下の在来軸組工法であること

④過去に、木造住宅耐震診断補助金・木造住宅耐震改修補助金・旧耐震住宅建替え補助金の交付を受けたことがないこと

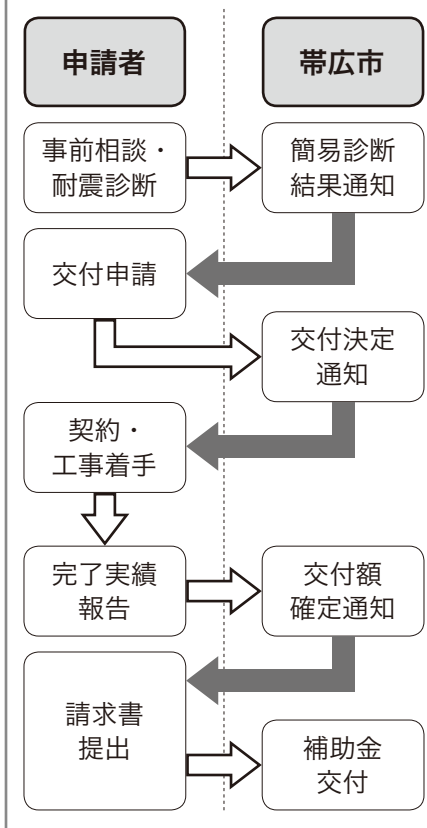
⑤原則として国等から他の補助金などの交付を受けた、または受ける予定がないこと

⑥耐震診断で上部構造評点が0.4未満と判定されていること

◆申し込み方法

申請前の耐震診断※が必要。建築開発課へ早めに相談の上、申請書類など問い合わせください。
※住宅の筋かいの位置・仕上げなどが分かる図面がある場合は、帯広市無料耐震簡易診断が可能。

交付までの流れ



子宮頸がん
苦しまないために

ヒトパピローマウイルス（HPV）予防接種



問い合わせ

健康推進課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9720）

市ホームページID.1006705

キャッチアップ接種の概要

積極的な勧奨（個別に接種を勧める内容の文書送付）の差し控えによりHPVワクチン定期予防接種を受ける機会を逃した人は、時

限的に従来の対象年齢を超えて無料で予防接種を受けられることになりました。（キャッチアップ接種）

◆対象者

帯広市に住民登録があり、平成9年4月2日～平成18年4月1日に生まれた女性

※対象者には、7月上旬にお知らせを送付しています。

◆実施期間

令和7年3月31日（月）まで

◆実施医療機関

お知らせに同封の一覧、または市ホームページをご確認ください。
なお、やむを得ない事情により、市外で接種を受ける人には予防接

種費用を助成します。（接種前の手続きが必要）

HPVワクチンを自費で受けた人に対する費用の助成

キャッチアップ接種対象者の中で、令和4年3月31日までにHPVワクチンを自費で受けた人に対して、接種にかかった費用について償還払いにより助成します。（申請が必要）

◆対象者

令和4年4月1日時点で帯広市に住民登録があり、定期接種の期間を過ぎてから自費でHPVワクチン（2価・4価）を受けた、平成9年4月2日～平成17年4月1日に生まれた女性

※令和4年4月2日以降に転入した人は、転入前の自治体に問い合わせください。

◆申請期限

令和7年3月31日（月）まで

ヒトパピローマ
ウイルスって？



ヒトパピローマウイルス（HPV）は、性的接触のある女性であれば50パーセント以上が生涯で一度は感染するとされる一般的なウイルスです。

子宮頸がんを始め、肛門がん、膣がんなどのがんや尖圭コンジローマなど、多くの病気の発生に関わっており、特に近年、若い女性の子宮頸がん罹患が増えています。

そのため、HPVワクチンは小学6年生～高校1年生相当の女子を対象に、定期接種が行われています。



市長への手紙 まちづくりに皆さんの声を生かします。市政に関するご提言、ご意見などをお寄せください。

☎ 広報広聴課（市庁舎3階、☎65・4109、✉ tegami@city.obihiro.hokkaido.jp） 市ホームページID.1004155